



創刊号 新米町長の奮闘記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～ 【両小学校の学習発表会を見て】

10月5日(月)に就任してから慌ただしく、近隣三町長への挨拶回り、そして8日(木)・9日(金)と函館・札幌方面の官庁を駆け足ではありますが、挨拶回りをさせていただきました。

特に道庁では、山谷副知事はじめ柴田教育長、竹谷監査委員など幹部の方々と名刺交換ができました。また、私が昭和60年に研修で一緒に働いた仲間が道庁のど真ん中において、久々に再会することができました。

これからこれらの方々が、福島町の応援団となってくれることを期待しております。

10月16日(金)は、乙部町で開催された南北海道市町村連絡会議に参加し、渡島・松山の首長の方に挨拶をさせていただきました。自己紹介の中で、改めて故村田町長の町葬のお礼もさせていただきました。夜は合併60周年記念事業の一つであります

す「NHK上方演芸会」で、主催者として挨拶をし、町民の皆様と一緒に上方漫才の笑いと話術を堪能させていただきました。また、Wヤングさん等の出演者には、再会をお願いし、お見送りをさせていただきますました。

なお、全国放送は、前ページのとおりですが、2週にわたって全国に横綱記念館やトンネル記念館などの福島町の自慢の施設や名産を情報として発信することができ、また、町民の方々の元気な笑い声がラジオを通じて、故郷を離れて都会で暮らす方々へ故郷便りとして届けられることと思います。

10月17日(土)は、福島小学校の学習発表会、18日(日)には、吉岡小学校の学習発表会を見させていただきました。時間の関係で全てを見ることはできませんでしたが、この度は、吉岡小学校での感想を述べさせ

ていただきます。

テーマが「真剣に取り組む、美しく響かせる」31人で行く吉岡小学校「発表会」で、特に感激したのは、5・6年生の「千本桜」ほかの音楽でした。

「千本桜」という歌は、後で調べましたら初音ミクさんの歌で、今、大変若者を中心にブームになっているものでした。

また、2曲目が赤い風船の「翼をください」という曲で、青春時代に謳歌した曲で、懐かしく聞かせていただきました。会場からは、アンコールの声もあり、指揮する先生の子供たちを見守る優しい笑顔、そしてそれに真剣に答える子供達の輝く瞳に、感動で胸が熱くなる思いがし、指導された先生方のご苦勞に感謝、感謝です。

そして、休憩前が全校生徒による校歌の合唱でしたが、体育館全体に響き渡る子供たちの澄んだ声と、会場のお母さん

ちの歌声が一体となり、大変すばらしい取り組みだと感じ、テーマの「真剣に取り組む、美しく響かせる」が私の心に響きました。

吉岡の小学校が地域に愛され、地域の皆様に育てられていることを実感しました。

私は、この31人の子供たちから福島商業高校存続のヒントをいただいたような気がします。

小さくてもキラリ輝きを放てば、人数の問題ではなく、高校も光り輝く魅力を鎧にすれば、存続の道は自ずと開かれるものと確信します。

